

平成 19 年 11 月 30 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、観光関連が順調なもの、生産活動が一進一退で、個人消費も盛り上がりを欠くなど、全体では停滞感を強めている。

生産活動は、電子部品関連がやや弱含んでおり、飲食料品も伸び悩んでいる。個人消費関連は、新車販売が前年並みに回復したものの、百貨店売上げやスーパー売上げは盛り上がりを欠く。投資関連では、民間建築工事や住宅着工、公共工事がともに低調。その間、観光入り込み客数は前年を上回った。

【生産活動】 ... 一進一退

電子部品関連は、IC 生産が回復基調にあるものの、PDP（プラズマ・ディスプレイ・パネル）やカラーLCD（液晶ディスプレイ）は競争激化により伸び悩んでいる。

10月の**生コン**生産は、8か月連続で前年を下回った。

10月の**紙パルプ**生産は、前年比0.4%増となった。

木材関係は、住宅建設需要が弱く、低調に推移している。

大島紬生産は、減反基調にある。

焼酎は、生産および出荷の増勢テンポこそ鈍化しているものの、引続き高水準で推移している。

かつお節生産は、原料となる輸入かつおの浜値が依然高値で推移し、生産は抑制基調。

【畜産関連】 ... 堅調

肉用牛（和牛）の枝肉相場は高値圏にあるものの、需要の伸び悩みから弱含んでいる。豚肉及びブロイラー相場は、堅調に推移している。また、鶏卵相場は供給増により、前年を下回る水準で推移している。

【消費関連】 ... 盛り上がりを欠く

9月の百貨店売上げは、秋物衣料品の動きが鈍く、前年比1.5%減と前年を下回った。9月のスーパー売上げは、0.8%減と前年並みに回復した。10月の大型小売店販売は、大型商業施設の開業により底堅く推移。

10月の乗用車新車販売台数は、新車投入効果により3.1%増と21か月ぶりに前年を上回った。車種別にみると、普通車は29.5%増、小型車が9.3%減となった。一方、軽自動車は14.2%減となった。

【観光関連】 ... 順調

10月の離島を除く主要ホテル・旅館の宿泊客数は、前年比2.9%増と、5か月連続で前年を上回った。地区別にみると、指宿地区以外は前年を上回った。一方、種子島・屋久島地区は、前年を下回った。この間の主要観光施設入場者数をみると、前年をやや下回る展開となった。

【投資関連】 ... 低調

10月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を下回った。

9月の民間建築工事は棟数、床面積、工事費ともに前年を下回った。

9月の新設住宅着工戸数は、6月20日の建築基準法改正に伴い設計や審査に遅れが生じたこと等により、前年比20.1%減となった。利用関係別では、分譲が前年比17.8%増だったものの、持家、貸家はそれぞれ6.5%減、33.1%減となった。

10月の主要建設資材卸売業者の売上げは、前年比10.1%減となった。

【貿易関連】...輸出、輸入ともに前年割れ

9月の**輸出額**は、液晶表示板等の科学光学機器が前年を上回ったものの、半導体等電子部品が前年を下回ったことから、全体では24.6%減となった。**輸入**は穀物及び同調整品が前年を上回ったものの、原油及び粗油が前年を下回ったことから、全体では24.7%減となった。

【雇用情勢】... 足踏み

9月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント上回る0.63倍にとどまり、雇用情勢は足踏みしている。

【金融情勢】... 堅調

資金需要は、住宅ローン、企業の設備資金ともに堅調に推移している。

【企業倒産】... 件数、負債額ともに増加

10月の**企業倒産**は、件数は11件と前年同月(6件)を上回り、負債額も17億500万円と前年同月(7億7,000万円)を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

株鹿兒島地域経済研究所(099-225-7491)